

カーボンニュートラル

CN

びっくり



ジーエヌ

GN

群馬県民の皆さまと一緒に奏でる4つの“カーボンニュートラルストーリー”

これまで、私たちGNグループは地球と地域の環境改善を果たすべく、積極的な活動を行ってまいりました。
また、2010年の日産リーフ販売開始以来、私たちはEV販売のトップランナーとして、次世代の「新しい移動」のかたちを追求しております。
今日は私共GNグループにとって、創業99年となる2024年度の始まりの日です。
目指す未来に壁を設けることなく、“Going Limitless”の精神で、
群馬県民の皆さまの原動力になっていくことを私たちはここに宣言いたします。
2024年度、GNグループは「」と「」を併せた、さらなるカーボンニュートラルへのチャレンジを展開してまいります。
2024年度も、GNグループの新しい挑戦にご期待ください！

1

“蓄電池としてのEV”を活用した 新エネルギー マネジメントシステムの運用

群馬日産自動車の品質保証センターに設置している太陽光パネルによる太陽光発電(総発電量198kW)と、EV「日産リーフ」5台、制御装置、V2H等を活用した日産自動車の充放電制御サービス「ニッサン エナジーシェア」によるエネルギーマネジメントを行うことで、効率的なエネルギーの運用、太陽光発電の有効利用と系統電力の安定化／研究を実践しております。太陽光発電の余剰電力を活用した電力のピークカット／ピークシフト、さらには災害時等の非常用電源としても、「蓄電池としてのEV」活用を追求してまいります。

※GNグループ全体の太陽光発電総出力は1,763kW(予定:2024年度)となります。

NISSAN
ENERGY
SHARE



ニッサン エナジーシェア動画



2

地産地消型PPA(群馬モデル)の 電力供給先事業者として

GNグループ5社は、群馬県企業局による「地産地消PPA 群馬モデル」の電力供給先事業者に採択され、本日4月1日より3年間、群馬県営水力発電所から電力供給を受けることとなりました。これにより、温室効果ガス排出ゼロの電力による企業運営が可能となります。また、GNグループ各店舗でEV急速充電器を利用されるEVユーザーのお客様もまた、再生可能エネルギー由来の電力でのEV走行が可能となり、私共が推し進めるカーボンニュートラルへの取り組みにご参加いただけることとなります。併せて、奈良俣発電所の「ネーミングライツ」スポンサーとしても採択され、愛称を「GNエネパワー奈良俣発電所」と決定いたしました。



奈良俣発電所

地産地消型PPA
(群馬県ホームページ)



3

EVカーシェアリング事業の展開

2023年11月より、草津ホテル1913様との協業で、日産サクラを使用したEVカーシェアリングを開始しました。草津町の周辺観光を希望される観光客の皆さまや、自動車を所有していない従業員の皆さまの移動手段として、カーボンニュートラルに対応したモビリティとしての活用が期待されています。また、共愛学園前橋国際大学様との間では「SDGs次世代人材育成協定」を締結。GNグループの環境への取組みをSDGs関連授業として立ち上げ、学びの場を共創するとともに、5台の日産サクラと充電器を設置。学内EVカーシェアの事業構築に、学生の皆さまの参画機会を提供させていただく予定です。



草津ホテル1913



共愛学園前橋国際大学

草津ホテル1913
ホームページ



共愛学園前橋国際大学
ホームページ



4

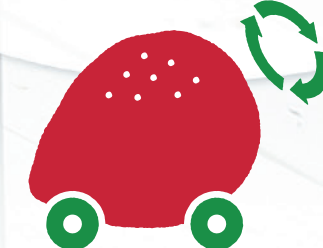
地球想いの農業法人、mino-lioの 「CO2排出“実質ゼロ”農法」

GNグループの農業法人mino-lioの社名の由来は、「みのり(実り／農り)+lio(再生油を使用するためoilのスペルを反転)」。農業法人mino-lioは、自動車のオイル交換時に排出される「廃エンジンオイル」を濾過した「再生重油」を、ハウス園芸農業の暖房用燃料として活用し、いちご栽培(やよいひめ／よつぼし)を行っている会社です。「省エネ法」と「温対法」の2つの法律上では、「再生重油」は燃焼させても、二酸化炭素排出「実質ゼロカウント」となります。これは資源リサイクル促進のためです。mino-lioは、原油高が重荷となっている農家の皆さまの経営の一助となるべく、安価で安定的に排出される廃エンジンオイルを利用した「資源循環型農業」の発展に寄与してまいります。



再生重油

mino-lio
ホームページ



ぐるりいちご農園
GURURI STRAWBERRY FARM

高崎市巾尾町467



GNグループの農業法人mino-lioが運営するいちご農園。お客様のおクルマから排出される廃オイルを再生重油に転換し、その燃焼エネルギーでいちごを栽培し、お客様に食べていただくという循環(ぐるり)の創出を理念としている。栽培棟面積は約450坪。栽培品種は「やよいひめ」と「よつぼし」の2種で、予想収量は年間約7トン。

PHOTO : Akikazu Namiki

GNグループは、2030年に向けた温室効果ガス削減目標を60%減(2021年度比)とし、さらに2050年のカーボンニュートラル達成を目指します。

GNホールディングス 群馬日産自動車 日産プリンス群馬 GNロジパートナーズ 日産部品群馬販売 mino-lio

お問い合わせ:GNホールディングス株式会社 GNグループ経営戦略室/群馬県前橋市城東町1-6-8 TEL:027-231-2111 customer@gnhd.co.jp

